

## 23. 果皮色が赤く晩生で食味が良い大粒系4倍体ブドウの 新品種「クイーンニーナ」の特性

### 1. 背景とねらい

県内のブドウ産地では、「ピオーネ」や「安芸クイーン」が栽培されているが、さらに、大粒系で食味が良い品種が求められている。そこで、(独)農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所で育成された、ブドウの新品種「クイーンニーナ」の特性を明らかにする。

### 2. 成果の内容

- 1) 「クイーンニーナ」の交配組み合わせは、「安芸津 20 号」×「安芸クイーン」で、系統番号「安芸津 27 号」として、第 11 回ブドウ系統適応性・特性検定試験に供試され、本県も含めた各県の試験結果をもとに、2009 年度に品種登録申請された。
- 2) 開花期は、5 月下旬で「ピオーネ」や「安芸クイーン」と同時期である(表 1)。
- 3) 収穫期は、「安芸クイーン」、「巨峰」及び「ピオーネ」より 1 週間以上遅く、9 月上旬である(表 1)。
- 4) 果房重は 490 g 程度で、糖度は 19°Brix 程度と高い(表 1)。
- 5) 果皮色は赤く、食感は崩壊性(噛み切りやすい果肉肉質)で良い(図 1, 表 1)。
- 6) ジベレリン処理により無核化が可能であり、ジベレリン 2 回(果実肥大)処理で果粒重は 18 g 程度になる(表 1)。
- 7) 以上から、「クイーンニーナ」は、「安芸クイーン」や「ピオーネ」の後に熟す、果皮色が赤い大粒系のブドウとして有望である。

### 3. 利用上の留意点

- 1) 県内南部の現地試験における聞き取り調査により、「クイーンニーナ」は県内南部の温暖な地域では着色が不安定なため、県内中北部の着色に有利な地域での導入が見込まれる。
- 2) 花穂整形や摘粒などの栽培労力の程度は、「ピオーネ」と同等である。

(果樹研究部)

#### 4. 具体的データ



図1 「クイーンニーナ」の着果状況

表1 「クイーンニーナ」と対照品種の生育及び果実形質

品種名	開花盛期 (月/日)	収穫盛期 (月/日)	果房重 (g)	果粒重 (g)	果皮色	果肉 特性	糖度 (° Brix)	酒石酸 含量 (g/100ml)	含核数 個/粒
「クイーンニーナ」	5/29	9/2	495	17.8	赤	崩壊性	19.4	0.35	0.3
「巨峰」	5/25	8/28	403	13.8	紫黒	中間	17.5	0.55	0.6
「ピオーネ」	5/27	8/24	410	16.4	紫黒	中間	19.1	0.53	0.5
「安芸クイーン」	5/27	8/24	410	16.4	赤	中間	19.1	0.53	0.5

調査場所（期間）：農業技術センター果樹研究部（2005～2007）

根域制限栽培

植栽年次：2004年

崩壊性：噛み切りやすい肉質のこと